

Oshima Hakko Museum News
大島博光記念館ニュース
 第66号

2023年7月24日
 発行 大島博光記念館
 〒381-1233 長野市松代町清野 2567-1
 電話・FAX 026-278-1004
 メール kobayashisono1@gmail.com
 http://oshimahakkou.blog44.fc2.com/



バラまつりでオリエンタルダンスを舞う OKIKA さんたち (5月28日)

だまっちはいない

—故国チリに潜入撮影した映画人の愛に捧ぐ— 小森香子

群らがる鳩 かがやく広場の陽ざし
 だがサンチャゴの人びとは もうあの日から
 チリ人らしい大きな身ぶりで 語らない
 地下鉄にはパトロール隊 通りには放水車
 街中に 完全武装の国家警備隊員(カラビネーロ)
 人は声をひそめ無表情に それでもささやく
 「私たちの国は 飢えている」と

正午の大砲は鳩は飛び去り 大聖堂の鐘は
 ビオレター・パラの歌を 今もかなでる
 グラシアス・ア・ラ・ビーダ(生への讃歌)を

慕われる人びとは 死んでも死なない
 貧民街(ポブラシオン)には 灯明と 花と 祈り
 マリア像のうしろに アジェンデの写真
 バルパライソの墓地には 巡礼が絶えず
 いつも だれかの 花束が香る

「大統領」といえば アジェンデのこと
 夜ごとの子守歌は あの輝く時代を教える

ネルーダが愛したイスラ・ネグラの海の家は
 立入禁止の柵にかこまれ 今は空っぽだけ
 愛の詩集かかえた若者たちが 訪れつづけ
 警備隊がいくら消しても 愛のメッセージは
 柵をおおい重なりあつて 生き物のように
 地震で大地や海がゆれるたび 動きうたう
 「愛は死なない ネルーダは生きている」

サンチャゴの広場も 海も 大地も
 だまっちはいない どんな重圧の時だって
 人間の良心は だまっちは いられない

(『チリ人民連帯ニュース』第31号 1987年3月10日)



アルピジェラ展 2023
 チリ軍事クーデター
 1973.9.11 を忘れない
 5月～12月28日



併設展
 没後50年
 パブロ・ネルーダ展
 5月～12月28日



チリ軍事クーデター
 50年を記念する
 講演と歌のつどい
 2023年9月10日(日)
 サンホールマツシロ



春のバラまつり (5月28日)
 咲き誇るバラと舞姫三人が艶やかな競演!



[アルピジェラ展 2023 関連イベント]
チリ軍事クーデター 50年
 を記念する講演と歌の集い
 ■ 2023/9/10 (日) 14:00~16:45
 ■ サンホールマツシロ

講演
 ロベルタ・パチチ(アルピジェラ
 キュレーター、北アイルランド)
 酒井朋子(京都大学人文科学研究所)
 伊藤千尋(ジャーナリスト、「九条の
 会」世話人)
 歌 竹松えり ベンセレーモス、ありが
 とういのち、おいで一緒に、他

【要予約】
 大島博光記念館 026-278-1004

- ＜日 誌＞
- 4月24日 記念館ニュース 65号発行
 - 5月1日 日本 AALA の田中さんと箱木さん
 - 5月3日 アルピジェラ展 2023 オープン
 - 5月13日 映画会「イル・ポステイーノ」
 - 5月27日 うたごえ喫茶
 - 5月28日(日) バラまつり / 友の会総会
 - 6月10日 映画会「コロニア」
 - 6月20日 長野詩人会議例会
 - 7月1日 狼煙 101号発行
 - 7月2日 ヴァイオリンコンサート
 - 7月7日 作家の海堂尊氏が来館
 - 7月8日 第3回アルピジェラ展実行委員会
映画会「ミッシング」
 - 7月11日 講演の神田香織さん他 11名
 - 7月12日 荻原姉妹とネルーダ詩の鑑賞会
 - 7月22日 うたごえ喫茶 (6月は休み)

- ＜スケジュール＞
- 5月3日～ アルピジェラ展
 - 9月10日 チリ軍事クーデター 50年を記念
する講演と歌の集い
 - 第2土曜日 映画鑑賞会
 - 第4土曜日 うたごえ喫茶

デュオ・ロスマリン コンサート ～再会の喜びを奏でる～

4年ぶりの神野優子・宮林陽子姉妹のコンサート。モーツァルト、ヴェルディからシャンソン、映画音楽、童謡まで美しく演奏。



アルピジェラ展 2023 始まる

チリ軍事クーデター 50年
 — 1973.9.11 を忘れない



日本 AALA の田中靖宏さんと箱木五郎さん。50年記念の集いについて懇談し、象山地下壕も見学。(5月1日)

針と糸で描くチリの現実。チリの女性たちが縫い上げたタペストリーが圧巻です。平和の願いを伝えるのに、こんな方法もあったのですね。

・南米の現代史や社会情勢に興味があったので、とても面白く見ました。
 ・南米チリの現代史、大変感銘を受けました。(感想文より)

チリクーデター 50年を記念する集いにツアーで参加 作家の海堂尊さんが来館

日本 AALA(アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会)がバスツアーで参加を企画。伊藤千尋さんも同行。この集いの後援団体となりました。



友の会会長に新村さん
 記念館友の会総会を開催
 1年間の活動のまとめと新年度の方針、体制について話し合い、友の会会長は宮沢栄一さんが退任し、新村富男さんが選ばれました。宮沢さん、お疲れ様でした。(5月28日)

ネルーダ展を見学され、「ネルーダ万歳! 大島博光先生万歳!」と記帳。「サンデー毎日」にパブロ・ネルーダを主人公にした連載小説を執筆中で、8月から掲載されます。ネルーダがどんな活躍をするのか楽しみです。

【編集後記】
 ■ アルピジェラ展 2023 がスタート。新聞を見てきたという人、はなやかに食事に来て記念館玄関の大きな看板にひかれて来館する人多くの人が足を運んで下さって嬉しい。
 ■ 「デュオ・ロスマリンコンサート」魂を揺さぶる演奏でした。こんな近くでヴァイオリンの弦の響き、震えまで聞くことができ、しあわせでした。大きなホールで聴きたいとの要望もありました。
 ■ 「春のバラまつり」に「デュオ・ロスマリンコンサート」と文化行事に多くの人が集い、幸せな時間をもつことができました。これからも地域の文化活動の発展のために役割を果たしていきます。

